



ペットそれも犬といわれると、すぐ「リー犬を思い浮かべる。子供の頃

テレビで「名犬ラッシー」という人気番組を見ていたせいかもしれない。その当時普通の家でよく飼われていたのはスピッツという小型犬だった。一時大型犬が流行り、今はチワワというから、犬の好みもネクタイの幅のように変わるものらしい。

犬のことでわからないことがあるときは、工業の「常務さんに聞くこと」にしている。K氏自身犬を飼いつつ、今ではボクサーの一種の室内犬が同居中である。

「ウチの防犯係長です」と紹介されたとき、結構大きくて驚いたが、きわめておとなしい性格であった。

大好きの方が家を建てる時、何か特別な注文があるかというとき、実はそうではない。もちろん防臭クロースを使ったり、足洗い場を作ったりと細かな配慮はするのだが、拍子抜けする

「それはそうですよ。犬好きの方は犬を家族の一員と思ってますから、特別扱いはしません」とK氏。そのういえば、食事も一緒にするという人の話を聞いたことがある。もう「ペット」という言葉自体が当てはまらないのだろう。犬の言葉を判読するおもちゃがヒットする時代である。

犬を飼われているお客様の家を建てた後、K氏がそのお宅を訪問して気をつけて見ているのは、犬が普段どこにいるかということだ。犬は家の中で一番快適な場所を知っている。昔なら日当たりのいい縁側と相場は決まっていたが、今は縁側などはない。高性能の現在の家では、必ずしも窓際がいいとは限らないように、本当にそれぞれの家で、好きなところに構えている。

犬は昔外で飼っていたし、窓際にいるから「防犯」の役目もおおせつかったのだろうに。「そりゃ昔の話です」と笑うK氏。当の防犯係長も知らぬ顔である。



笑って笑って
ハイ！笑って

歯医者さんに、「はい、口を大きく開けて。」と言われたので、口を大きく開けると、「あー、本当に大きな口ですねー。」と言われた。



小さい頃、ウルトラマンと怪獣が東京タワーの近くで戦っているのをテレビで見て、「九州で生まれてよかったあ。」と思っていた。

僕の前に一組のカップルが歩いていた。彼女は、彼氏に肩に手を回され、彼女も彼氏の肩に手を回していた。うしろから見ると、歩く足のタイミングがぴったりで、二人三脚のようだった。



スーパーで買い物をしていると、近くにおばあさんが店員に、「鉄のサランラップはどこですか？」と聞いていた。店員は、不思議そうな顔もせず、アルミホイルのある棚に案内していた。



「ドクダミ」の底力

ドクダミの生命力と繁殖力は、他の薬草よりはるかに強く、いくらむしり取っても、根茎が残っていると、翌年は、地面いっぱいになるくらい繁殖します。野原、空地、路地などどこでも見ることができます。6月頃、白い花が咲き葉は、さつまいもの葉に似ています。独特の臭いがあり、何か毒でも入ってるのではないかということからドクダミ(毒溜め)がドクダミへと変化してこの名がついたと言われている。古来より、民間薬として利用されてきました。漢方名を「十薬」という



ドクダミ化粧水の作り方

- ①ドクダミを水で洗い、つるしてよく水気をきる。
- ②葉だけを瓶に詰め、ホワイトリカーを瓶の口まで注ぐ。
- ③冷暗所に三ヶ月位寝かせる
- ④こして、液だけを瓶に保存し、使う分を小瓶に分けて、好みてグリセリンやオリーブオイルを入れる

【材料】

- ・ドクダミ(生薬) …300g
- ・ホワイトリカー(32~42度) …1.8ℓ
- ・グリセリン …130~180ml

※ドクダミ化粧水の「仕込み」をするのは、一番薬効が強いと言われる**開花の時期**

ねんから頂き
私をはまっ
ます! 担当N

食する「どくだみ」の薬効

ドクダミの花穂や葉、茎には、排便を促す緩下作用や余分な水分を排泄する利尿効果がある成分を含んでいるので、体内の**老廃物除去作用**がある。また**毛細血管を強化**する作用もある。カリウム塩を含んでおり、**神経細胞や筋肉組織を活性化**する働きがある。体内の水分を正常に保ち、利尿作用、快便作用、皮膚表面の汗腺の調節に効果があり、**自律神経をコントロール**する働きもしている。ドクダミの独特の臭いは、精油成分。この成分は、強い抗菌作用がある最近、抗カビ、抗菌作用について目を向けられている。ドクダミの独特の臭いのため昆虫も嫌うほどで、白アリ予防や食品の防腐剤としても開発されている。生薬では独特の臭いのため飲用できないが、乾燥させると、精油成分が揮発するので、煎じて飲用することができる。煎じて飲料することにより、**便秘症、風邪、蓄膿症、耳鳴り、胸の痛み、のぼせ、胃酸過多、高血圧、動脈硬化、冷え性**などなど数え切れないほどの効能があります。

耳にまつわる雑学

耳と脳の深いつながり

ラジオで脳を鍛えよう!

- 1.家事をしながら聞こう
- 2.歩きながら聞こう
- 3.想像をふくらませながら聞こう
- 4.音楽を聞こう
- 5.たまには内容を書き出そう



- ✧ 彫刻家の**三木富雄**は、耳の彫刻を生涯にわたって多数制作したことで知られる。
- ✧ 画家の**ゴッホ**は、自画像に描いた耳についての批判的な意見を気にしたあまり、自分の耳を切り取ったことがある。
- ✧ 耳の形はよく**遺伝**するので、**DNA**や**血液型**による鑑定が一般的になる前、親子鑑定に用いられていた。
- ✧ **耳の血流の変化は見てとりやすく**、耳は(人によっては)心理的動揺が顕著に現れやすい部位でもある。